

ケアマネジャーって何？

利用者に合わせてケアプランを作成。
多職種が連携できるように、
パイプ役も務めるのがケアマネジャー



医療福祉ジャーナリスト・ケアマネジャー

松本若菜さん × 村田優美さん 対談

医療と介護は同格。患者本位に 考えているから医師にも意見する

松本氏(以下敬称略) 私は夏海というケアマネジャー役を演じていますが、どんな仕事をするのかまったく知らなかったの、患者や家族、医師、専門職の相関図を書いて、その役割を理解していきました。それまではケアマネジャーも現場で介護をするのかと思っていたのですが違うんですね。

村田氏(以下敬称略) 在宅であれ施設であれ介護保険サービスを利用している利用者のケアプランを作成する仕事です。一人ひとりニーズも課題も違うので丁寧に話を聞いてプランに反映させていくんですよ。また、医師や訪問看護師、ヘルパー、リハビリ職、歯科医などさまざまな専門職が連携してケアにあたれるようにパイプ役を務めるのも、とても大切な仕事のひとつです。

松本 この映画でも多職種が連携して、残された時間を在宅で過ごす患者さんをサポートする様子が描かれています。ケアマネジャーって、チームをまとめあげる重要な仕事なんですね。

村田 夏海は優れたケアマネジャーだと思います。若手医師に対してズバリ意見する姿を拝見して初心を思い出しました。相手が誰であれ臆することなく指摘するって大切なことですよ。チームで連携しながらケアをしているわけですから、意見を言い合える関係を築いていかなければなりません。それが患者さんのためになるのですから。

松本 夏海はホントに強気ですよ(笑)。観客の皆さんは医師に対してズバリと意見する私に感情移入して見てくださるはずだから、感情的に怒るのではなく、患者と家族を思うからこそ、ついキツイ言い方をしてしまう、そういう役柄でいこうと監督から言われていました。そんな彼女だからこそ、若手医師も在宅医として成長できたんですね。

村田 医療と介護は本来同格です。夏海がチーム全員の前で「みんな同じ。上も下もない」というような発言をしていましたが、ま

さにその通りです。でも、現実にはなかなか難しいので、その隔たりを埋めていくのもケアマネジャーの役割なんです。

松本 医師と患者の間にもへだたりってありそうですね。

村田 患者さんの生活については医師より現場の専門職のほうが断然わかっています。患者も家族も相談しやすいですよ。ヘルパーも患者さんにとって話しやすい相手ですが、限られた時間の中で掃除や調理、トイレ介助などのサービスをしなければならないので、ゆっくり話を聞く時間はなかなかとれません。その点、ケアマネジャーは1時間くらいじっくり話を聞くことができます。人によって価値観はさまざまなので、ケアマネジャーは自分の意見を押し付けることなく、いろいろな役を演じられる女優にならないといけません。それもまたケアマネジャーという仕事のおもしろさですね。

患者のために最善を尽くして、 在宅での看取りもサポートする

松本 この映画では在宅での看取りも描いています。患者の意思を尊重して、在宅でどのように最期を迎えるか。これもケアプランに基づいて実現していくわけですよ。私の知人に家族が在宅で看取った方がいるのですが、ケアマネジャーには最期まで本当にお世話になったと感謝していました。もし私の両親が在宅医療を選択したら、ケアマネジャーに支えられて自宅で看取りたいと心から思っています。

村田 松本さん演じるケアマネジャーは、患者さんの最期の望みを実現することをあきらめませんでした。「どうすれば実現できるか」を前向きに考える姿勢は、多くのケアマネジャーに力を与えてくれると思います。

松本 介護の現場には日々の介護はもちろん看取りまで相談できるケアマネジャーがいるということを知らない人は多いと思います。この映画で、まずはその存在を知ってほしいですね。